

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年8月の国内電気銅建値は下記の通りです。

8月	3日	～	720円/Kg
8月	6日	～	730円/Kg
8月	14日	～	710円/Kg
8月	19日	～	740円/kg
8月	24日	～	730円/kg
8月	27日	～	740円/kg

2020年8月度は平均で728.50円/kgとなり、前月比7.10円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

8月のLME銅相場	8/3～8/30	(安値ドル 6,342.50～6,728.00 高値ドル)
7月のNYC銅相場	8/3～8/30	(安値セント 279.05～301.90 高値セント)

8月度のLME現物は、8/3 \$6,441.00 でスタート。世界経済はコロナによる影響が余りにも大きく、過去との比較も難しい中、銅相場は8/5 \$6,525.00 まで上昇するも、それをピークに下降線に入っていく。一旦伝えられた中国の景気回復などの影響にもよるものだと考えられるが、その語の欧州、米国のGDPの速報値は大きくマイナスとなり、それを受ける形で下落の動きとなった。その後、8/14 \$6,342.50 を底値とし、やや回復の動きとなった。8/19 \$6,667.00 まで上昇し、月末の8/23 には \$6,702.00 を付けた。LME在庫は月初めには126,676 tでのスタートであったが、その後減少し8/11 には大きな手放しがはいったのか172,437 tに増加した。ただ、その後翌週には10万t台、さらにその翌週には9万t台へと近年にはないレベルまで減少する形となった。経済状況とは別に銅価の動きにも注目したい。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

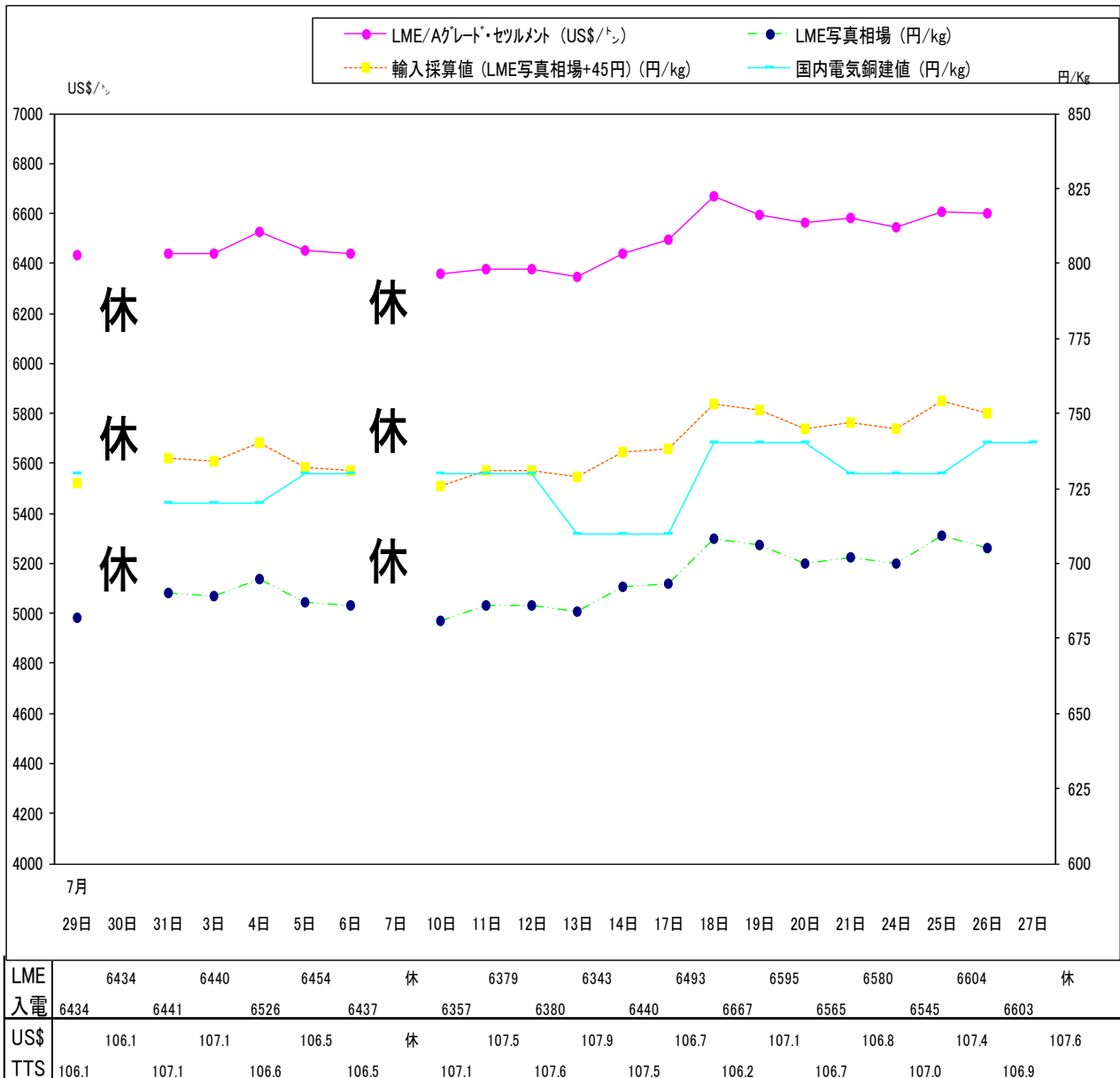
先行き短期見通

国内銅価

8月の国内建値は8月3日720円でスタート。銅価は短期で大きくは動かず、8/6 730円に上げるが8/14 には710円に。19日740円、24日730円、27日740円と比較的安定的に推移した。

8/28付 LME \$6,728.00、同 為替 (TTS) 1USD=107.66 円で日本円換算計算値724円/kgに。2020年9月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、760円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年8月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 8月 3日 ~ 295 円/kg
- 8月 7日 ~ 304 円/kg
- 8月 18日 ~ 310 円/kg
- 8月 21日 ~ 313 円/kg

平均306.30円/kg

2020年8月は上記の通りで前月比 21.30円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	8月	266.50 円/kg	(前月比+ 9.50 円/kg)
電気錫 (相対)	8月	3,290.00 円/kg	(前月比+ 40.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	8月市中価格	1,750.00 円/kg ~ 1,800.00 円/kg	
銀	7月平均	70,700.00 円/kg	(前月比+ 8,000.00 円/kg)
	8月31日	96,170.00 円/kg	
金	7月平均	6,330.95 円/g	(前月比+ 304.40 円/g)
	8月31日	6,715.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2020年7月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		6月度実績	7月度速報	前月比	前年7月度実績	前年同月比
銅	板	943	1,068	13.3%	1,563	-31.7%
	条	16,324	15,573	-4.6%	22,612	-31.1%
	管	7,049	6,603	-6.3%	9,766	-32.4%
	棒	1,547	1,512	-2.3%	2,300	-34.3%
	線	215	241	12.1%	308	-21.8%
黄銅	板	527	503	-4.6%	703	-28.4%
	条	4,686	4,491	-4.2%	8,318	-46.0%
	管	349	326	-6.6%	560	-41.8%
	棒	10,983	9,975	-9.2%	15,454	-35.5%
	線	1,098	1,084	-1.3%	2,060	-47.4%
青銅	板	1,772	1,728	-2.5%	2,031	-14.9%
	条					
	棒	240	224	-6.7%	297	-24.6%
	線					
洋白・その他	板	356	315	-11.5%	454	-30.6%
	条					
	棒	141	142	0.7%	476	-70.2%
	線					
合計	46,230	43,785	-5.3%	66,902	-34.6%	

7月の伸銅品生産速報は、43,785トンで前月比マイナス4,383トン、前年同月比マイナス34.6%となり、前年同月比が20ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の5月分実績及び6月分推定によれば、5月分実績はコロナの影響を受け7部門のうち通信を除いた6部門が軒並み前年同月を割り込んだ。総計は4万2千70tで前年同月比25.5%減と大幅に落ち込み、9ヶ月連続で減少した。この総出荷量に最も近いのは、45年前の第1次オイルショック後の1975年1月で3万7千916tとなった。

一方、6月分推定では、前年を上回ったのは電力と通信の2部門のみ。他の5部門の減少幅は5月より総じて圧縮したものの、総計は5万300tで同11.2%減と二桁のマイナスになった。この結果、20暦年の上期(1～5月は実績、6月分は推定値)の出荷は、4～6月にコロナ禍で振るわなかったほか、通信と電力を除く5部門が前年同期を割り込み、総計で31万2千809tと前年同期比8.8%減少した。主力の建設電販は、2月以降前年割れが続き、15万3千239tで同8.3%減となった。

5月分の部門別出荷は通信を除き軒並み減少となった。通信は6ヵ月連続で伸長。年度末需要と一部5G絡みも寄与した。マイナスグループは6部門。電力はコロナによる建設作業者の不足もあり同13.1%減。電気機械はコロナと貿易摩擦により、25.2%減少した。自動車も同48.0%の大幅減となった。建設電販は電設部門がモロに影響を受け同21.7%減少。その他内需も、民間企業の設備投資の鈍化にコロナ禍が重なり、同20.1%減少。輸出もコロナの影響で同62.2%減と大きく減少した。

2020年5月分(実績)・2020年6月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	5月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	6月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	5月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	906	▼12.9	0.8	800	(▼11.7)	8.1	1,263	▼15.5	▼10.3
電力	(1,661)	(38.5)	(7.4)	(1,900)	(14.4)	(30.6)	(1,028)	(7.1)	(▼12.1)
電気機械	3,714	▼4.4	▼13.1	4,700	26.5	24.0	4,209	▼3.3	▼24.8
自動車	(217)	(22.6)	(▼35.2)	(197)	(13.2)	(▼33.4)	(197)	(13.2)	(▼33.4)
建設・電販	8,391	▼19.3	▼25.2	8,900	6.1	▼22.5	10,456	▼20.7	▼31.5
その他内需	(88)	(▼31.2)	(▼38.9)	(308)	(▼31.6)	(▼34.9)	(308)	(▼31.6)	(▼34.9)
内需計	3,695	▼39.7	▼48.0	5,300	43.4	▼28.7	17,080	▼30.4	▼49.6
輸出	(5)	(▼28.6)	(▼72.2)	(8)	(▼55.6)	(▼52.9)	(8)	(▼55.6)	(▼52.9)
合計	21,679	▼17.3	▼21.7	25,800	19.0	▼6.8	23,408	▼16.7	▼26.6
心線販売	(51)	(▼1.9)	(▼32.0)	(500)	(38.5)	(▼14.4)	(55)	(▼14.1)	(▼38.2)
内需計	3,186	▼15.1	▼20.1	3,700	16.1	▼9.5	5,331	▼16.1	▼23.4
輸出	(2,022)	(29.4)	(▼4.6)	(2,400)	(18.7)	(17.7)	(1,595)	(▼4.3)	(▼22.0)
合計	41,571	▼19.2	▼24.6	49,200	18.4	▼10.9	61,747	▼20.9	▼35.0
心線販売	(239)	(81.1)	(11850.0)	(400)	(67.4)	(48.7)	(214)	(146.0)	(1845.5)
合計	499	▼49.5	▼62.2	1,100	120.4	▼21.8	2,466	▼37.9	▼44.8
心線販売	(2,261)	(33.4)	(6.6)	(2,800)	(23.8)	(21.3)	(1,808)	(3.1)	(▼12.0)
合計	42,070	▼19.7	▼25.5	50,300	19.6	▼11.2	64,213	▼21.7	▼35.5
心線販売	(403)	(▼16.9)	(▼3.4)	(500)	(24.1)	(21.1)	(91)	(▼18.0)	(▼15.7)
合計	18,591	▼21.2	▼37.0	20,300	9.2	▼32.8	11,314	▼23.9	▼48.0

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年5月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,350	▼22.7	▼3.2	1,942	▼30.4	▼36.8	
巻線	6,596	▼29.3	▼37.8	6,210	▼28.0	▼45.5	
機器用電線	2,685	▼20.2	▼18.5	8,191	▼14.0	▼12.2	
通信用電線・ケーブル	1,201	▼8.3	▼10.7	2,472	▼11.3	▼16.1	
電力用電線・ケーブル	16,908	▼16.9	▼21.1	16,264	▼16.4	▼28.6	
被覆線	8,560	▼13.4	▼19.1	11,550	▼15.2	▼23.6	
輸送用電線	2,770	▼28.1	▼51.8	17,584	▼30.3	▼49.5	
銅電線計	42,070	▼19.7	▼25.5	64,213	▼21.7	▼35.5	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	53	▼13.1	▼36.9	182	▼19.5	▼23.8
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,235	▼25.6	▼33.0	2,462	▼21.8	▼36.3
	計	2,294	▼25.3	▼33.0	2,667	▼21.4	▼35.3
アルミ電線計	2,261	33.4	6.6	1,808	3.1	▼12.0	
光製品	2,844,121	▼26.1	▼15.7	19,769	▼7.9	▼6.4	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	4,107	▼22.2	▼13.5	

(注)2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注)3. 光製品の数量はkmc

(注)4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、中国国家7月PMIが51.1（前月50.9）、中国財新7月PMIが52.8（前月51.2）、米国ISM製造業景況指数が54.2（前月52.6）と好調であったことを受けてアルミ価格は堅調な推移からのスタートとなる。週末、米国失業保険件数が予想より好調であったことを受けて米株価が堅調に推移。アルミ価格もつられて堅調な推移となる。第2週、米大統領が失業給付の上乗せを含む経済対策を発表したことにより、目先の米景気懸念が和らぎアルミ価格は堅調に推移。また、カナダから輸入するアルミに対しての追加関税を課す方針を示したものの、価格には大きく影響せず\$1,780前後での堅調な推移。第3週、米国で住宅着工件数が予想を上回って好調であることを受けて、アルミ価格は上昇。新型コロナに関して、ロシアに続き、中国でもワクチン販売の報道があり、経済再開の期待感から価格は上昇。米国では失業保険申請件数が予想を上回り、製造業景況指数は予想以上に低下したものの、アルミ価格には影響せず、一時は\$1,800台に突入。第4週、欧州において、サービス業PMI、製造業PMI指数が予想を下回ったことで景気に対する懸念が強まり、アルミ価格は軟調に推移。その後、米中間の対立が緩和されたことや、米国の新築住宅販売件数が予想を上回ったことが好感し、価格は上昇。米国で新型コロナウイルスに対する新たな治療法やワクチン開発に関する好材料を受け、米景気回復への見方が強まり、ドル買いが優勢となる。さらに米国における政府新方針が物価上昇や景気の後押しをすとの見方から米長期金利が上昇しドル買いが優勢となり円相場は106円半ばとなる。当面は\$1,770前後での小幅な推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 7~8月積 1,832.00~1,841.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 7~8月積 207.20~208.20 円/kg
- ・NSP 2020年 6月 218.80 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 7月~9月 220.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年6月	'20年7月	'19年7月
月生産	*2,265.0	2,321.0	2,258.0
平均日産	*75.5	74.9	76.1

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

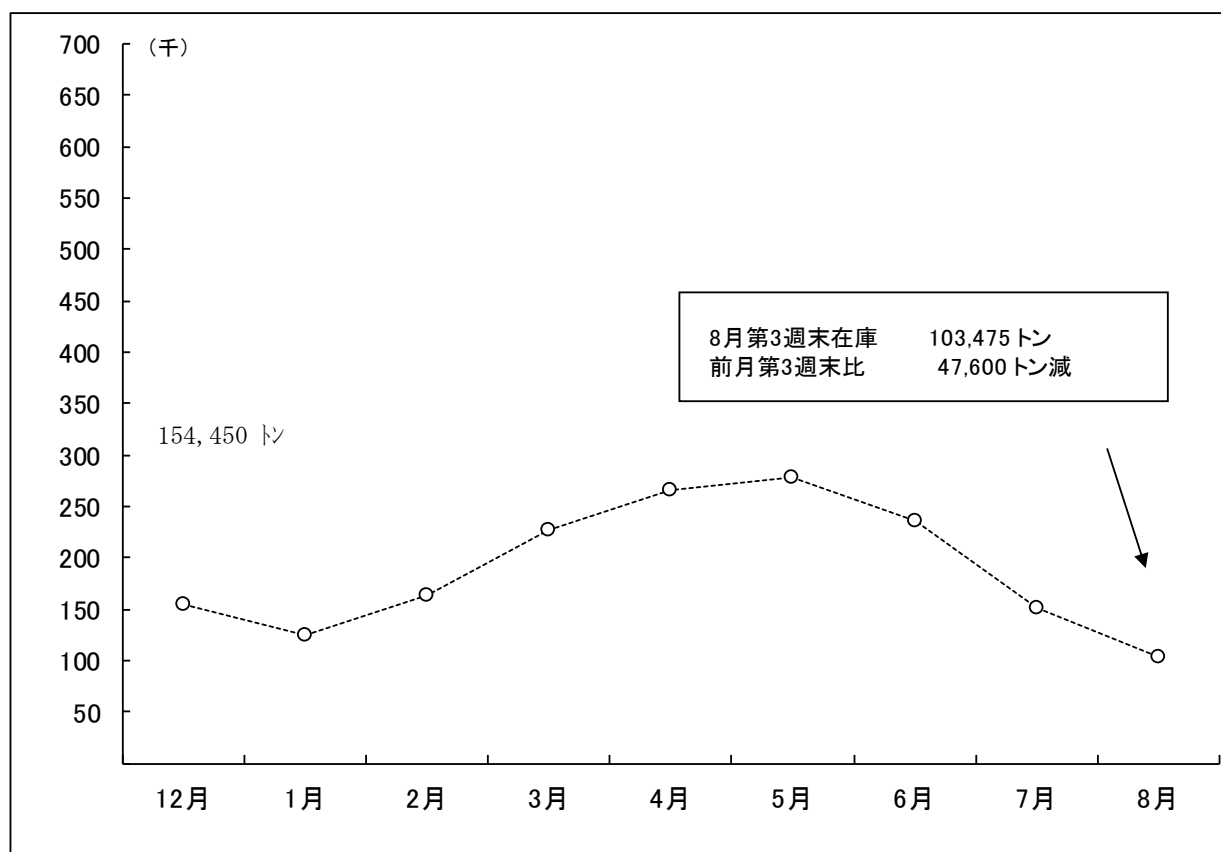
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年4月	2020年5月	増減	2019年5月	増減
横浜	160,500	166,700	+6,200	153,000	+13,700
名古屋	133,500	156,300	+22,800	128,000	+28,300
大阪	15,000	15,500	+500	15,000	+500
合計	309,000	338,500	+29,500	296,000	+42,500

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年8月21日現在 87,325 S T 前月比 1,085 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年6月末 117,106 トン 前月比 551 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年6月確報 48,168 トン
 ・20年7月速報 46,230 トン 前月比 100.6 %

◎ 電線出荷実績

・20年7月速報 53,800 トン 前月比 107.0 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 7月	板 類	89,343 トン	
	押 出 類	52,357 トン	
		<hr/>	
		141,700 トン	前月比 105.5 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。